

ネイルサロン ジュジュ

小林舞衣さん (35)

一、負けず嫌いな女の子

Juju

幼稚園の頃から負けず嫌いで、競争でも一番になりました。幼稚園から中学校まで幼稚園の先生になりました。吉原一中ではバスケット部に所属していたが、中距離選手として陸上部でも活躍した。高校では男子バスケットボール部のマネージャーをやっていた。親に進学を勧められ、自身も東京に出たいと思っていたので、運動部に所属していた関係もあり、推薦で短大に進学することになった。幼稚園の先生になりたいと思っていたので、教養科へ。教育学を中心に幼児教育や心理学などを受講した。

二、就職しネイルスクールに通う

姉はエステティシャン、母はブティック経営、親戚は大阪で美容院を経営するなど、おしゃれや美に関する影響を受け、頭から足先まで流行には敏感だった。初めてネイルをしたのは小六で、友人宅でカラーをしたり爪を磨いたのを覚えている。そんな環境からカネボウ化粧品静岡支社に就職(三年半勤務)。



初めて店長になり、スタッフを育てなければいけない立場でもあり、楽しいというよ

事務職ではなく、接客がしたかったので、メイクや皮膚の勉強ができる美容部員を希望した。静岡支社で三ヶ月研修し、富士市のカネボウの販売店で美容部員として勤務することになった。そこではお客様にメイクアップをし、化粧品販売をしていた。濃



いめにメイクする美容部員もいたが、自分はお客様に合わせたナチュラルメイクをするように掛けていた。そしてメイク後にはネイルアートを自分でサージスしていた。売上UPに貢献してもあまり評価されないこともあり、手に職をつけたいと思うようになった。もともとハンダグリー精神が旺盛で、その頃からネイルを本格的に学びたいと思い始めた。入社一、二年後だった。週二日の休みを使って東京渋谷のネイルスクールに通い、技能試験も受けた。卒業後はまだ自分の技能に自信がなく、その後小人数で丁寧に指導してくれる二つのスクールに通った。

三、退社、東京のネイルサロンの店長に

カネボウ化粧品を退社し、富士にある母のブティックの一角で、友人や知人にネイルをしていたが、自分の技術のなさに気付いた。タウンページで求人を探し、沼津のネイルサロンで二年間働き接客や技術を身につけた。二十六歳の時ネイルの学校時代の友人(ネイルサロン経営者)に誘

りも大変だった。売上ゼロからのスタートで、フリーパーパーやネットを活用して宣伝し、チラシを手配りし、着実に売上UPを目指した。その頃はネイルサロンも増えてきていた時代で、この頃もネイルスクールに通い、検定試験(認定講師)を受け、独立に向け更に技術を高めて行った。

四、独立、富士店もオープン

五年間勤めたあと独立し、同じ、代官山の古いマンションの一室に小さいながらもお店をオープン。独立する時に丁度お店が閉店したので、スタッフ一名とそれまでのお客様に引き継ぎ来てもらった。ウチコミで集客した。一年後に富士店をオープン。両親のブティックと洋服屋酒屋を改造し、ジュジュは、両親が飼っている猫の名前。両親がやっていたお店をネイルサロンにしたため、両親にちなんだ名前にしたかった。その一年後に代官山店を大きくし移転。ここは自分一人でやり、東京と富士を行き来している。大変だが楽しく仕事を

している。ネイルサロンは年々増えているし、リピーターは数人いるが、価格は前よりも下がっているため、経営は足踏み状態である。

五、ネイルリストに必要能力

向上心と努力が必要。細かい作業もあれば、接客業もある。お客様との距離が近いし、持っている時間も長い。ずつと話をしていないといけない。それができなくて辞めてしまう人もいます。

六、今後の夢、若者へ

技術のあるネイルリストの育成とお店の両立。向上心と根性を持ち、あきらめない心で。ネイルサロンに通い、ネイルリストの道も。



ネイリストになるには

<ネイリストについて>

- ・爪の手入れから、アートなどの装飾までを行う爪専門の技術者。
- ・ネイリストの仕事には、爪の形を整えたり表面を磨いて手入れを行う「ネイルケア」、爪にマニキュアを塗る「カラーリング」、ネイルに色々なデザインを施す「ネイルアート」、傷んだり欠けた爪の補修や修復をする「リペアー」などがある。
- ・ネイリストの男女比は、男性 10%・女性 90%と、女性の方が多いが、男性ネイリストも増えてきている。
- ・一人の客に要する時間は、ケアや簡単なカラーリングの場合 40 分～60 分程度。凝ったアートやジェルを施す場合は 2 時間程度要することもある。
- ・センスが問われる仕事のため、常に美意識を高める努力をしなければならぬ。ネイルだけでなく、ヘアメイク、ファッションなどの流行にも敏感であることが必要。
- ・細かい作業を行うので、手先が器用で集中力のある人が向いている。また、コミュニケーション能力や人間性も求められる。

<仕事内容>

- ・出勤したら、お店の掃除、用具の手入れを行い、オープンの準備からスタートする。
- ・ネイルサロンは美意識の高い女性たちが来店するため、店の清潔感が重要。また、アロマを焚いたりリラックス感のある音楽を流したり、優雅な空間作りにも気を配る。
- ・客が来店したら、まずは要望をヒアリングすることから始まる。
- ・具体的なイメージが固まっていない人には、希望を聞きながら技術を施していく。中には、会話の中から客の趣味や嗜好を聞き出してデザインに反映するネイリストもいる。
- ・技術が終わり、仕上がりに満足すると終了となる。最後に簡単なハンドマッサージをサービスで行う場合もある。
- ・店が閉店したら、後片付け、掃除をし、終了。その後自主トレーニングに励む人もいる。

<ネイリストになるには>

◎特に学歴、資格は必要ない。

- ・一般的にはネイルスクールもしくは美容専門学校で爪の構造、衛生学などを学ぶことが多い。基本的なケアの授業を受けたうえで、アートの技術を修得する。
- ・日本ネイリスト検定試験センターが主催する「ネイリスト技能検定試験」を取得しておくこと、就職に有利な場合がある。

◎主な職場は、ネイルサロンやエステティックサロン。最近は美容室や結婚式場などでも需要が高まっている。経験を積んで独立・開業する人もいる。

(参考 URL) JS 日本の学校 職業なるにはナビ 512 <http://school.js88.com/>

Career Garden <http://careergarden.jp/>

あしたをつかめ平成若者仕事図鑑 <http://www.nhk.or.jp/shigoto/>